

セキュリティ要件/ リスクカテゴリー	リスク要因	
保護すべき情報が漏 えいするリスク (機密性)	利用者・サービス間の情報隔離に失敗する	H05
	サービスエンジンの制御機能を奪われる	H06
	クラウドプロバイダでの内部不正－特権の悪用	M07
	管理用ユーザインターフェースに、不正にアクセスされ、使用、操作される	M08
	データ転送途上における攻撃、データ漏えい（アップロード時、ダウンロード時、クラウド間転送）	M09
	利用者別の情報削除、廃棄に失敗する	M10
	サプライチェーン先から提供される業務が不全となる	L14
	データの集中により当局によるデータ押収が行われた場合、他利用者含め情報が開示され、またサービスが停止する	L18
	国内外の法令等の開示、提出命令により、他利用者含め情報が開示され、またサービスが停止する	L19
情報及び処理が改竄 されるリスク (完全性)	利用者・サービスの高集約、共有化により、障害が派生、拡大する	H01
	サービスエンジンの制御機能を奪われる	H06
	クラウドプロバイダでの内部不正－特権の悪用	M07
	管理用ユーザインターフェースに、不正にアクセスされ、使用、操作される	M08
	サプライチェーン先から提供される業務が不全となる	L14
サービス提供ができ なくなるリスク (可用性)	利用者・サービスの高集約、共有化により、障害が派生、拡大する	H01
	物理／仮想環境の設計・設定・運用の不整合により、機能不全となる	H02
	ある利用者・サービスの停止、抑止に伴い、他利用者がサービスを利用できなくなる	H03
	リソースの事前準備、動的割当が不足し、増大する利用者需要に対応できない	H04
	クラウド内DDoS/DoS攻撃を受け、サービス不全となる	M11
	外部との相互運用性がなく、利用者のデータ移管、移行ができない（ロックイン）	L12
	サプライチェーン先から提供される業務が不全となる	L14
	データの集中により当局によるデータ押収が行われた場合、他利用者含め情報が開示され、またサービスが停止する	L18
国内外の法令等の開示、提出命令により、他利用者含め情報が開示され、またサービスが停止する	L19	